

学習指導案（教科：総合的な探究の時間）

1 授業内容

科目：総合的な探究の時間

単元：「観光」をテーマに地域の課題を発見しよう

2 本時の指導計画と評価方法

(1) 単元の目標

今年度は地域活性化について、生徒たちにとっては比較的身近な「観光」をテーマに、課題の発見と解決に取り組む。本単元では課題の発見に必要な知識及び技能を身に付け、自ら課題を立てることを目標とする。

(2) 本時の目標

「ビジネスと問題解決」をテーマに、ビジネスとは「誰かの何かの問題解決」であることを理解する。ワークを通して、問題解決のためには課題発見が重要であることに気づく。また、学びを踏まえて、課題を立てるためのワークに取り組む。

(3) 本時の評価規準

（思考・判断・表現）具体的な事例をもとに、その商品やサービスが誰の何の問題を解決しているのか考え、まとめることができる。

（知識・技能）ビジネスと問題解決の関係について理解できる。問題解決の流れを理解できる。

（主体的に学習に取り組む態度）ペアやグループで協働して学習に取り組むことができる。また、自身の学びを振り返り、次の学びにつなげることができる。

(4) 本時の展開

時間	指導の内容・ねらい	学習活動	指導上の留意点・評価
導入 (8分)	○学びの見通し ○動機付け ○言葉の説明	・年間計画について確認し、学びの見通しを持つ。 ・自分の中にある「悩み事」と「願望」を、「～～だったらいいのに」という形なるべく多く出し、隣の人とペアを作り、内容を共有する。 ・課題とは、理想と現実のギャップのことであると確認する。	・自分の中にある課題に気づかせる。 ・ワークに先立ち、「課題」の定義を確認する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ペアで積極的に意見を出し合っている。
展開 (30分)	○解説	・教師の解説を聞き、理解する。	・ビジネスとは「誰かの何かの問題解決」であることを、生徒にとってなるべく身近な具体例を交えて解説し、イメー

	<p>○ワーク (ケーススタディ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【練習問題①】シ アトル系コーヒーシ ヨップは「誰の何の 問題を解決している のか」 ・【練習問題②】携 帯電話は「誰の何の 問題を解決している のか」 ・【練習問題③】自 分達で身近な商品/サ ービスを1つ選び、 それが誰の何の問題 を解決しているのか を考 え、議論しよう。 <p>○クロストーク 練習問題③について</p> <p>○解説</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・練習問題①について考え、ワークシ ートに記入する。 ・記入した内容を基に、グループ内で 共有・議論し、ワークシートに記入す る。 ・練習問題②について考え、ワークシ ートに記入する。 ・記入した内容を基に、グループ内で 共有・議論し、ワークシートに記入す る。 ・練習問題③について考え、ワークシ ートに記入する。 ・記入した内容を基に、グループ内で 共有・議論し、ワークシートに記入す る。 <ul style="list-style-type: none"> ・電子黒板に投影された各チームの内 容をもとに、それぞれのチームで話し 合った内容を発表し合う。 ・課題発見の重要性を確認する。 	<p>ジをつかませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・机間指導し、進んでいないグループが あれば適宜介入する。 ・全体的に進んでいないグループが多い 時は、進んでいるグループのワークシ ートを電子黒板に投影し、クラス全体に共 有する。 ・机間指導し、進んでいないグループが あれば適宜介入する。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協働して学習に取り組むこと ができる。</p> <p>【知識・技能】 ビジネスと問題解決の関係について理解 できる。</p> <p>【思考・判断・表現】 具体的な事例をもとに、その商品やサー ビスが誰の何の問題を解決しているのか 考え、まとめることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が提出した内容を電子黒板に投影 する。 ・課題にこそ価値があり、課題発見力が 重要であることを強調する
<p>まとめ (12 分)</p>	<p>○次々の準備</p> <p>○次回予告</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今後取り組むテーマを確認し、課題 発見のためのワークを行う。 ・次回、ワークの続きを行うことを確 認する。 	<p>【主体的に学習に取り組む態度】 グループで協働して学習に取り組むこと ができる。</p>

(5)ICT 活用計画

ICT を主に活用するのは、展開でワークに取り組む部分である。

(手順)

①課題（ワークシート）を生徒全員に配布する。

→ClassPad.net の配布機能を活用

②個人及びグループで課題に取り組ませる。

→ClassPad.net のふせんを活用

③グループの代表生徒は、課題を提出する。

→ClassPad.net の提出機能を活用

④教員は、生徒から提出された課題を電子黒板に投影し、クラス全体に共有する。

→ClassPad.net の提出機能を活用

(ClassPad.net を活用する効果性について)

- ・班活動で議論を行う際のワークシートについて、先生に提出するとともに班員全員に学びの記録として共有することができる。
- ・送受信機能を用いることで、効率的に意見交換ができる。